

セットアップガイド

BRD-UXP8

I-O DATA

B-MANU201023-01

1.接続しよう

Serial ATAポートに接続する場合

- 1 パソコンと周辺機器の電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。
- 2 パソコンのルーファカバーを外し、添付のeSATAブラケットをパソコンのPCIスロットに挿し込み、ネジ止めます。
※ネジはパソコン付属のものをご使用ください。
- 3 添付のeSATAブラケットのケーブルをパソコン内部のSerial ATAポート(Serial ATAコネクタ)に接続します。
- 4 パソコンのルーファカバーや電源ケーブル、周辺機器を元に戻します。
- 5 本製品に、添付のeSATAケーブルを接続します。
- 6 本製品に、添付のACアダプターを接続し、電源コンセントにつなぎます。
- 7 本製品の電源を[ON]にします。
- 8 eSATAケーブルをeSATAブラケット(Serial ATAポート)に接続します。
- 9 パソコンの電源を入れます。
※Windowsを管理者権限でログオンしてください。

正常に使用できるかを確認します

▼Windowsの場合

Windowsを起動して「マイコンピュータ」(または「コンピュータ」)を開き、本製品のドライブアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されれば、本製品をご使用いただけます。



↑(画面例:Windows XP、メディア未挿入。Fドライブとして認識している場合)

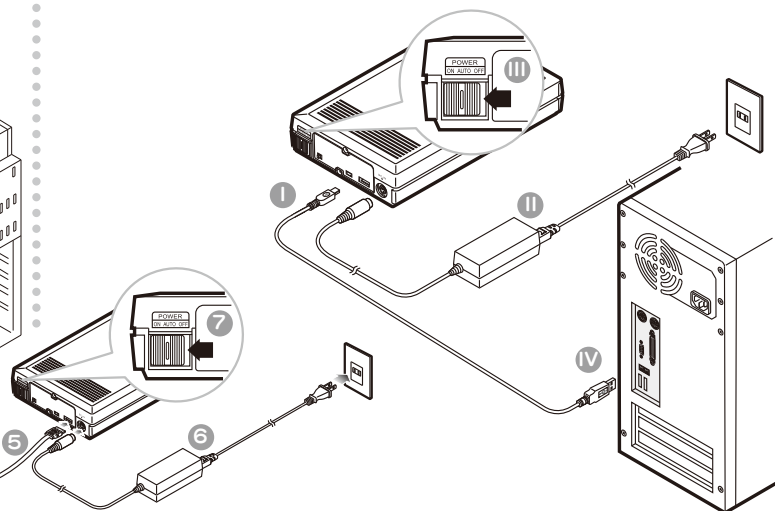
- 注意
- ドライブ文字(番号)は環境によって異なります。
 - ドライブ名称は挿入されているメディアにより異なります。
(例:Windows XPで空のDVD-Rメディアを挿入すると「CD-ROM」と表示されます。)

USBポートに接続する場合

※セットアップを行う場合にはWindowsを管理者権限でログオンしてください。

- I 本製品に、添付のUSBケーブルをつなぎます。
- II 添付のACアダプターを本製品と電源コンセントにつなぎます。
- III 本製品の電源を[ON]または[AUTO]にします。
- IV パソコンのUSBポートにつなぎます。
本製品はOSに標準で搭載されているドライバーを使用するため、ドライバーをインストールする必要はありません。

- 注意
- 本製品をUSB 2.0で動作させるには、USB 2.0インターフェイスに接続する必要があります。
 - 機種によりUSBポートの位置はこととなります。



▼Mac OSの場合

Mac OSを起動し、フォーマット済みメディアを挿入します。デスクトップ上に本製品のアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されれば、本製品をご使用いただけます。

Macintoshの場合、フォーマット済みのメディアを挿入するまでデスクトップにアイコンは表示されません。



アイコンの追加を確認

2.取り外し手順を覚えよう

USBポートに接続している場合

▼Windowsの場合 (画面例:Windows XP)

手順.1

画面右下にあるタスクトレイのリムパブルツールをクリックします。



手順.2

本製品の表示をクリックします。

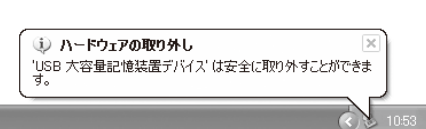
複数のUSB機器を接続している場合は、ドライブ文字(番号)で判断してください。(画面例:Eドライブの場合)



手順.3

メッセージを確認します。

(Windows XP以外の場合は[OK]をクリックします。)



手順.4

パソコンから本製品のUSBケーブルを取り外し、本製品の電源を切ります。

ただし、電源スイッチが[AUTO]の場合、自動的に電源が切れます。(Windows Vista®ではパソコンからUSBケーブルを抜くまで、電源は切れません。)

Serial ATAポートに接続している場合(Windowsのみ)

通常、パソコン起動中に取り外すことはできません。必ずパソコンの電源を切ってからeSATAケーブルを取り外し、本製品の電源を切ってください。

本製品に添付のユーティリティ[SATAUnplug]を使用すると、本製品をWindows起動中に取り外すことが可能です。詳しくは添付のDVD-ROMに収録されている「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

▼パソコンの電源を切ってから取り外す場合

手順.1

本製品からメディアを取り出します。

手順.2

Windowsを終了します。

手順.3

パソコンから本製品のeSATAケーブルを取り外し、本製品の電源を切ります。

ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らず、コネクタを持って抜いてください。

▼Mac OSの場合

手順.1

ドライブアイコンをクリックします。



手順.2

「ファイル」メニューから「…」の取り出しをクリックします。

「…」にはメディアを初期化した際に任意でつけた名前が表示されます。(右記[4.使ってみよう②(Mac OSの場合)]手順.5参照)



手順.3

トレイが開きますので、メディアを取り出し、トレイを閉じます。

手順.4

パソコンからUSBケーブルを取り外し、電源を切ります。

電源スイッチが[AUTO]の場合、自動的に電源が切れます。

3.その他

こんなときには

アイコンが追加されていない場合

- [表示]メニューの「最新の情報に更新」をクリックしてみてください。(Windowsの場合)
- ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。(パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。)また、別のUSBポートに挿し直してみてください。
- 添付のDVD-ROMに収録されているQ&Aの「本製品をパソコンに接続しても認識しない(本製品のアイコンがマイコンピュータ(またはコンピュータ)に表示されない)」をご参照ください。(Windowsの場合)

「新しいハードウェア」画面が表示されたまま消えない場合(WindowsでUSB接続の場合)

[キャンセル]ボタンをクリックし、ケーブルをパソコンから取り外します。パソコンを再起動して、取り外したケーブルをパソコンにつなぎます。

Windows Vista®でユーザーアカウント制御の画面が表示された場合

[続行]ボタンをクリックしてください。



「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された場合(Windowsの場合)

使用しているソフトウェアをすべて終了してから、取り外しをおこなってください。
※それでも同じメッセージが表示された場合、パソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。

電源連動機能とは?

パソコンの電源のON/OFFに連動して、ドライブの電源がON/OFFされる機能です。ただし、添付のケーブルを使用し、ドライブの電源が[AUTO]の状態の時のみ有効です。この機能により、パソコンの電源を切ると同時に、ドライブの電源も切れます。また、次回パソコンの電源を入れると同時に、ドライブの電源も入るの手間が省けます。



- 注意
- 電源連動機能により、本製品の電源スイッチをAUTOにした時点では本製品のPowerランプは点灯しません。起動済みのパソコンに接続するとPowerランプが点灯します。
 - 電源連動機能を切るには、電源スイッチをONまたはOFFにします。
 - ※本機能はUSB接続時のみ対応しております。

4.使ってみよう①

Windowsの場合

本紙裏面

Blu-rayを使ってみよう



をご覧ください。

その他ご注意

- ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクタを持って抜いてください。
- 一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。
- 本製品は、パソコンの省電力機能には対応していません。
- 本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。

縦置き/横置き

縦置きにする場合

手順.1

添付の縦置きスタンドの裏に、添付のゴム足を4枚貼り付けます。

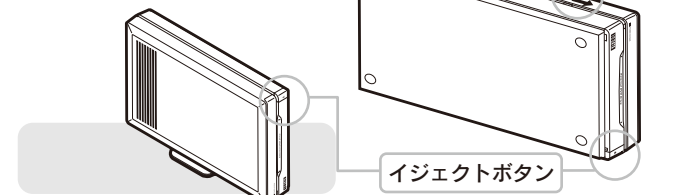
手順.2

イジェクトボタンが下になるように立て、縦置きスタンドを本体に取り付けます。



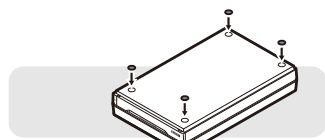
手順.3

イジェクトボタンが上になるように縦置きにします。



横置きにする場合

ドライブの底に添付のゴム足を4枚貼り付けます。



- 注意
- 本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。
 - 縦置き時、8cmメディアは使用できません。

4.使ってみよう② - Mac OSの場合

BD-REにドラッグ&ドロップで書き込んでみよう(SimpleDiskモードで使う)

注意

最初にメディアを初期化します。
大切なデータがある場合は、あらかじめバックアップを取っておいてください。

Macintoshでの動作環境について

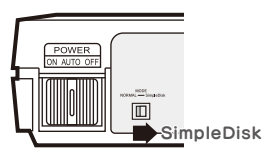
	BD-REデータ書込時
対応機種	USB 2.0ポートを搭載したMacintosh※1
対応OS	Mac OS 10.2.8以降※2

※1 Macintosh用ソフトウェアは添付しておりません。(添付のライティングソフトウェアはWindows用です。)
※2 SimpleDiskモードのみ対応しております。

手順.1

本製品を[SimpleDiskモード]でパソコンのUSBポートに接続します。

※[SimpleDiskモード]はUSB接続時のみお使いいただけます。(接続方法は左記[1.接続しよう]参照)



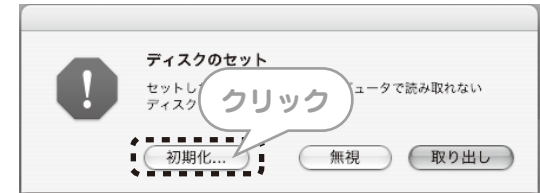
手順.2

ブランク(空)のBD-REメディアを本製品に挿入します。



手順.3

[ディスクのセット]ダイアログが表示されますので、[初期化]をクリックします。



手順.4

[ディスクユーティリティ]画面が表示されますので、左側にある[I-O DATA Optical Storage Media]をクリックし、右側の[消去]タブをクリックします。



手順.5

[ボリュームフォーマット]が[Mac OS 拡張 (ジャーナリング)]になっていることを確認して、任意で[名前]を入力し、[消去]をクリックします。



手順.6

消去が完了すると、デスクトップにドライブのアイコンが表示されます。以降はUSBメモリー等と同様にドラッグ&ドロップでデータを書き込むことができます。



こんなときには

SimpleDiskモードで使用していたメディアを挿入しても、デスクトップにドライブのアイコンが表示されない

本製品を[ノーマルモード]でパソコンに接続している場合、[SimpleDiskモード]で使っていたメディアを挿入しても認識されません。
[SimpleDiskモード]にてご使用ください。

SimpleDiskモードで消去できない

Windowsで使用していたBD-REメディア(UDF)は、SimpleDiskモードで消去することはできません。一旦Windows環境で消去してください。

てっとり早く Blu-ray を使ってみよう

用途に応じて添付ソフトウェアを選択してください。

※添付のライティングソフトウェアはWindows用です。Mac OSではご使用いただけません。

Blu-ray Discに映像を保存したい
DVD MovieWriter 5 BD version
Corel

BD/DVDオーサリングソフト

Blu-ray Discに映像ファイルを書き込んだり、DVDビデオを作成する際に使用します。
また、デジタルビデオカメラから直接Blu-ray Discに映像を保存する手順については…

※Windows 2000非対応

Blu-ray Disc等の映像を再生したい
interVideo WinDVD
Corel

BD/DVDプレーヤーソフト

作成したオリジナルBlu-ray Disc/DVDの映像や市販のBlu-ray Disc/DVDを再生することができます。
※Windows 2000非対応

データBlu-ray Discを作りたい
DVD Studio 9 PLUS
SOURCENEXT

データライティングソフト

通常のデータBlu-ray Disc/DVD/CDや、暗号化Blu-ray Disc/DVD/CDを作成することができます。
※他のデータライティングソフトやパケットライトソフトがインストールされている場合には、本ソフトをインストールする前にそれらのソフトをアンインストールしてください。

Blu-ray Discにデータを書き込みたい
B's CLIP
SOURCENEXT

パケットライトソフト

インストールすると、Blu-ray Discメディアにドラッグ&ドロップでデータを書き込むことができます。
※他のデータライティングソフトやパケットライトソフトがインストールされている場合には、本ソフトをインストールする前にそれらのソフトをアンインストールしてください。

右記[Blu-ray Discに映像を保存しよう]をご覧ください。

右記[Blu-ray Disc等を再生しよう]をご覧ください。

右記[データDVDを作ってみよう]をご覧ください。

右記[Blu-ray Discにデータを書き込みよう]をご覧ください。

DVDビデオの作成手順については…

デジタルビデオカメラから直接Blu-ray Discに映像を保存する手順については…

添付のDVD-ROMに収録されている画面で見るマニュアルをご覧ください。

1 添付DVD-ROMを本製品にセットします。
※ Windows Vista® でユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[許可] をクリックしてください。

2 [画面で見るマニュアルを読む]ボタンをクリックします。

注意 添付ライティングソフトウェアについて

- 本製品以外での使用は保証できません。また、本製品で他のライティングソフトウェアを使用して万一障害が発生した場合は弊社ではサポートいたしかねます。ご使用のライティングソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
- 書き込みに失敗したメディアの保証はいたしていません。
- DVD+RW/-RW、CD-RWメディアの消去(初期化)は書き込みを行ったライティングソフトウェアを使用してください。

添付の「BD Pro ツールズコレクション for BRD-P8」DVD-ROMにはその他に以下のソフトウェアも収録されています。

EasySaver LE HD DATA	データバックアップソフト：あらかじめ設定しておくだけで自動的にデータのバックアップを取ることができます。 (本ソフトは製品版EasySaverの機能限定版です。)
QuickDrive HD DATA	ドライブコントロールユーティリティ：パソコンシャットダウン時にメディアの取り出し忘れを防ぐユーティリティソフトです。 (本ソフトは製品版QuickDriveの機能限定版です。)
マッハUSB for BD/DVD HD DATA	USB転送最適化ユーティリティ：USBのデータ転送を効率化することで、ドライブをより高速でお使いいただくことができるようになるユーティリティソフトウェアです。 添付のB's Recorder GOLD9 PLUSをインストールすると同時にインストールされます。
SATAUnplug HD DATA	デバイスアンプラグユーティリティ：本製品をeSATAケーブルでパソコンに接続している場合に、本製品をWindows起動中に取り外しするためのユーティリティです。
画面で見るマニュアル for BRD-P8 HD DATA	本製品の「基本操作」や「DVDビデオの作り方」、「困ったときには」などについて説明しています。

用途に応じて必要なソフトウェアをインストールしてください。

※収録されているソフトをお使いの場合は、Windowsを管理者（Administrator）権限でログオンしてください。

- 添付のDVD-ROMを本製品に挿入します。
- メニューが表示されたら「外付モデル」をクリックします。
- 「インストール」をクリックします。
- インストールしたいソフトをクリックします。
- 表示に従ってインストールを進めます。

こんな時には…
インストールするソフトウェアによっては、シリアル番号入力画面が表示される場合があります。その場合、シリアル番号は自動的に入力されますので、そのまま次の画面に進んでください。

6 インストールが完了します。
(再起動が必要な場合があります。)

シリアル番号/CD-Key

- B's Recorder GOLD9 PLUS
- B's CLIP7

てっとり早く Blu-ray Discに映像を保存しよう

- 動画ファイルを準備します。
 - TVキャプチャ
 - VHSビデオテープ
 - DVカメラetc.
- DVD MovieWriter 5 BD versionを起動します。
[DVD MovieWriter 5 BD version]アイコンをダブルクリック
- 表示されたメニューから[ビデオディスク]→[新規プロジェクト]の順にクリックします。
- [Blu-ray/BDMV]にチェックをつは、[OK]ボタンをクリックします。

※動画ファイルの作成方法やDVカメラとの接続方法はお使いのキャプチャ機器・DVカメラの取扱説明書をご参照ください。

ここではDVD MovieWriter 5 BD versionを利用して、Blu-ray Discに映像ファイルを保存する手順を説明します。

1 [ビデオディスク]をクリック

2 [新規プロジェクト]をクリック

3 [Blu-ray/BDMV]を選択

4 [OK]をクリック

- [次へ]ボタンをクリックします。
- ビデオに書き込みたいファイルを選択します。
- [メディアの追加]枠の中からクリックします。
- [ファイルを選択]をクリック
- [開く]をクリック
- [メディアの追加]枠の中からクリックします。
- [次へ]をクリック
- お好みのメニューを作成し、[次へ]ボタンをクリックします。
- ここでDVD画質の映像ファイルを選択すると長時間の映像ライブラリBDを作成することができます。
- 本製品にBlu-rayメディアを挿入します。
- [書き込み]をクリックし、書き込みを開始します。

1 [ファイルを選択]をクリック

2 [開く]をクリック

3 [メディアの追加]枠の中からクリックします。

4 [書き込み]をクリック

てっとり早く データDVDをつくってみよう

1. [消去]をクリックします。
2. [OK]ボタンをクリックします。
3. [OK]ボタンをクリックします。
4. [書き込み]をクリックし、書き込みを開始します。
5. [開始]をクリックし、書き込みを開始します。
6. メディアを本製品に挿入して[開始]をクリックします。

こんな時には…
下記のようなメッセージがでた…

⇒初めてBDメディアを使う場合には、メディアの初期化が必要です。
[OK]ボタンをクリック後、次の手順で初期化をおこなってください。

1. [消去]をクリックします。

2. [OK]ボタンをクリックします。

3. [OK]ボタンをクリックします。

4. [書き込み]をクリックし、書き込みを開始します。

5. [開始]をクリックし、書き込みを開始します。

6. メディアを本製品に挿入して[開始]をクリックします。

こんな時には…
添付DVD-ROMのメニューより[Q&A]をご参照ください。

それでもわからなかったら…
045-226-1966
受付時間：10:00～12:00/13:30～17:30
月～金曜日(注)日曜日(注)のコールセンター営業日を除く

てっとり早く Blu-ray Disc等を再生しよう

- [スタート]→[プログラム(すべてのプログラム)]→[InterVideo WinDVD]→[InterVideo WinDVD for I-O DATA]の順にクリックします。
- 再生するBlu-ray Discを挿入します。

ここではWinDVD BDを利用して、Blu-ray Discの映像を再生する手順を説明します。DVDビデオも同様の手順で再生できます。

こんな時には…
■Windows XPで右のようなウィンドウが表示される
→キャンセルをクリックします。

困った時には…
添付DVD-ROMのメニューより[Q&A]をご参照ください。

それでもわからなかったら…
045-226-3899
受付時間：10:00～12:00/13:30～17:30
月～金曜日(注)日曜日(注)のコールセンター営業日を除く

てっとり早く Blu-ray Discにデータを書き込もう

- BD-REメディアを本製品に挿入します。
- マイコンピュータを開き、本製品のアイコンを右クリック→[B's CLIPフォーマット]をクリックします。
- 本製品を選択し、[次へ]をクリックします。
- [次へ]をクリックします。
- 必要に応じて[ボリュームラベル][UDFバージョン]等を設定し、[完了]をクリックします。
- [OK]をクリックします。
⇒フォーマットが始まります。
- フォーマットが完了すると以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。
これでBD-REメディアへドラッグ&ドロップするだけでデータを書き込むことができます。

※2～7の手順はBD-REメディアに初めてデータを書き込む際にのみ必要です。
※DVD±RW/RAM、CD-RWメディアも同様の手順でデータを書き込むことができます。

1 [B's CLIPフォーマット]をクリック

2 [アイコンを右クリック]

3 [次へ]をクリック

4 [次へ]をクリック

5 [ボリュームラベル][UDFバージョン]等を設定し、[完了]をクリック

6 [OK]をクリック

てっとり早く データDVDをつくってみよう

- B's Recorder GOLD9 PLUSを起動します。
- 表示されるメニューから「データCD/DVD」を選択します。
- 上段で保存したいデータを選択して下段にドラッグ&ドロップします。
- メディアを本製品に挿入して[開始]をクリックします。
- [開始]をクリックし、書き込みを開始します。
- メディアを本製品に挿入して[開始]をクリックします。

こんな時には…
■DVD+R/-R/-RWメディアを挿入したら下記のようなメッセージが出た…

●後でデータを追加して書き込む場合
[追加可能な状態で書き込み]にチェックを入れて[OK]をクリックします。

●書き込み後にデータを追加する予定がない場合
[互換性を重視し追加不可能な状態で書き込む]にチェックを入れて[OK]をクリックします。

困った時には…
添付DVD-ROMのメニューより[Q&A]をご参照ください。

それでもわからなかったら…
06-4861-8234
受付時間：10:00～12:00/13:00～17:00
月～金曜日(注)日曜日(注)のコールセンター営業日を除く

注意 B's Recorder GOLD + B's CLIPを使用する際のご注意

- 省電力機能を無効(オフ)にしてください。無効(オフ)にしないで書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。
- マルチセッション・マルチボーダー(セッション単位でデータを追記すること)を記録したメディアの使用済み容量を知りたい場合は、「B's Recorder GOLD」の「メディアメニュー」の「情報」を選択してください。エクスプローラの「ファイルメニュー」の「プロパティ」を選択すると表示される「使用領域」では、OSの仕様により最後のセッションの容量しか表示されません。
- 2層DVD+Rメディアにマルチセッションで書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。
- 2層DVD±Rメディアに[B's CLIP]で書き込みを行った場合、他のドライブで読み込むことはできません。
- 一度でも書き込みに失敗したDVD+R/-R/-CD-Rメディアは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。また、書き込みに失敗したDVD+RW/-RW/-RAM/CD-RWメディアは[B's Recorder GOLD]を使用して、いったんデータを消去した後にご利用ください。
- いったん[B's Recorder GOLD]と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず[B's Recorder GOLD]と本製品を使用してください。
- また、いったん[B's CLIP]と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず[B's CLIP]と本製品を使用してください。
- 一度[B's CLIP]でフォーマットしたDVD+RW/-RW/-RAM/CD-RWメディアを再フォーマットする場合は、「B's Recorder GOLD」や「B's Erase」でいったん標準消去してから、「B's CLIP」で再フォーマットしてください。
- B's Recorder GOLDにてコピー禁止機能付きDVDを作成する場合には、本紙表面「推奨メディア」欄にてご案内しておりますメーカー製のCPRM対応DVD-R/RW for VIDEOメディアをご利用ください。
- ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、メディアへの書き込みを行う場合、書き込みファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。
- B's Recorder GOLDのエラー回避機能のチェックを外さないでください。
- 「環境設定」→「ドライブ設定」→「高度なドライブ設定」で、「転送速度エラー回避機能」をONにしてください。
- ※エラー回避機能が常時ONになっているドライブでは、「高度なドライブ設定」のボタンは表示されません。
- 他のCD/DVDドライブを読み込み元ドライブとして使用する場合は、[B's Recorder GOLD]が対応していないCD/DVDドライブの場合は、読み込み元ドライブ(コピー元)としてご利用いただくことができません。その場合は本製品を読み込み元ドライブとしてご利用ください。
- ※ 機能・エー・エーへの有無をお問い合わせください。
- 音楽データを書き込んだCD-R/RWメディアを再生するには、再生するCDプレーヤーがCD-R/RWメディアに対応している必要があります。
- Windows 2000でお使いの場合には、ドライブのデジタルCD再生は無効にしてください。
- 本製品は「B's Recorder GOLD」の「HDDバックアップ機能」には対応していません。
- B's CLIPはCPRMに対応していません。

注意 著作権について

この製品またはソフトウェアは、あなたが著作権保有者であるか、著作権保有者から複製の許諾を得ている素材を制作する手段としてのものです。もしあなたが著作権を所有していない場合か、著作権保有者から複製許諾を得ていない場合は、著作権法の侵害となり、損害賠償を含む補償義務を負うことがあります。自身の権利について不明確な場合は、法律の専門家にご相談ください。

注意 DVDの地域コード(リージョンコード)について

本製品は、日本の地域コードである「2」に設定されています。ソフトウェアDVDプレーヤーなどで他の地域コードに設定した場合、弊社では保証いたしかねます。